授業科目	成人看護学援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		１年次	1	30		徳本　裕有	有

授業概要	身体各機能障害が、生命や生活にどのように影響を与えているかを理解し、その健康障害に応じた援助方法の知識と技術を学ぶ。主に栄養摂取機能障害・肝機能障害・代謝機能障害・生体防御機能障害のある患者の看護実践に必要なアセスメント・看護介入について理解し、健康回復から終末期における看護を学ぶ。

回数	授業計画・授業内容	授業方法
1	Ⅰ．　栄養摂取機能障害時の看護　＜胃がん患者の看護＞	講義
	胃切除を受ける患者の看護	
2	（１）手術前の看護　　（２）手術後の看護	
3	（３）術後合併症の予防と早期発見への看護	
	（４）回復期と退院に向けての看護	
4	Ⅱ．　肝機能障害時の看護	
	１．　肝炎患者の看護	
5	１）急性肝炎時の看護　２）慢性肝炎時の看護　３）肝硬変時の看護	
6	２．　肝がん患者の看護	
7	Ⅲ．　代謝機能障害時の看護　＜糖尿病患者の看護＞	
	１）症状に対する看護	
8	２）心理社会的特徴と看護	
	・疾病の受けとめと心理反応　　・学習への動機づけ	
9	３）教育的アプローチ	
	・合併症予防　　・セルフケア行動	
10	４）血糖測定の実際	演習
11	Ⅳ．　生体防御機能障害時の看護	講義
	１．　白血病患者の看護	
	１）寛解導入期の看護	
12	（１）化学療法を受ける患者の看護	
13	（２）疾患の受けとめと心理的援助	
	２）寛解期の看護　　３）終末期の看護	
14	２．　感染症：HIV	
	１）症状と治療に対する看護　　２）心理的援助	
15	試験	

テキスト	成人看護学[５]消化器／医学書院　　成人看護学[４]血液・造血器／医学書院 成人看護学[８]内分泌・代謝／医学書院　　臨床外科看護各論／医学書院 成人看護学[１１]アレルギー・膠原病・感染症／医学書院
評価方法	筆記試験
先修条件	なし